

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
【発行日】令和 7 年 1 月 14 日(2025.1.14)

【公開番号】特開 2023-96676(P2023-96676A)  
【公開日】令和 5 年 7 月 7 日(2023.7.7)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-127  
【出願番号】特願 2021-212591(P2021-212591)  
【国際特許分類】  
G 0 6 Q 1 0 / 0 8 3 ( 2 0 2 3 . 0 1 )  
【 F I 】  
G 0 6 Q 1 0 / 0 8 3 0 0

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 6 年 12 月 27 日(2024.12.27)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

ユーザに紐づく格納空間への格納物を格納する格納容器の容積ごとの種類を示す格納容器種別情報と、少なくとも前記格納空間の容積を示す格納空間容積情報と、に基づき、前記格納空間内の残余空間を示す残余空間情報を算出する残余空間算出部と、

前記格納空間内の残余空間情報に格納可能な追加格納物を抽出する追加格納物抽出部と、を備え、

前記格納容器種別情報は、所定の格納空間容積を基準の格納空間容積として、当該基準の格納空間容積を所定の数で除した容積に基づき互いに識別可能にしたものである、

ことを特徴とする情報処理システム。

30

【請求項 2】  
前記追加格納物情報は、広告物品情報を含む、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 3】  
前記追加格納物抽出部は、さらに前記ユーザの購買履歴情報を参照する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 4】  
前記追加格納物抽出部は、さらに前記ユーザの購買希望情報を参照する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

40

【請求項 5】  
前記追加格納物抽出部は、さらに前記ユーザに関連付けられる他ユーザの購買履歴情報及び購買希望情報の少なくともいずれかを参照する、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 6】  
前記追加格納物情報は、前記ユーザまたは前記ユーザに関連付けられる他ユーザの定期購買商品情報を含む、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

【請求項 7】  
前記追加格納物情報は、他ユーザから提供される物品を示す提供希望物品情報を含む、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

50

**【請求項 8】**

前記追加格納物情報は、前記ユーザまたは前記ユーザに関連付けられる他ユーザの配送物情報を含む、

ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理システム。

**【請求項 9】**

ユーザに紐づく格納空間への格納物を格納する格納容器の容積ごとの種類を示す格納容器種別情報と、少なくとも前記格納空間の容積を示す格納空間容積情報と、に基づき、前記格納空間内の残余空間を示す残余空間情報を算出する残余空間算出部と、

前記格納空間内の残余空間情報に格納可能な追加格納物を抽出する追加格納物抽出部と、を備え、

前記格納容器種別情報は、所定の格納空間容積を基準の格納空間容積として、当該基準の格納空間容積を所定の数で除した容積に基づき互いに識別可能にしたものである、

ことを特徴とするサーバ。

**【請求項 10】**

残余空間算出部により、ユーザに紐づく格納空間への格納物を格納する格納容器の容積ごとの種類を示す格納容器種別情報と、少なくとも前記格納空間の容積を示す格納空間容積情報と、に基づき、前記格納空間内の残余空間を示す残余空間情報を算出するステップと、

追加格納物抽出部により、前記格納空間内の残余空間情報に格納可能な追加格納物を抽出するステップと、を含み、

前記格納容器種別情報は、所定の格納空間容積を基準の格納空間容積として、当該基準の格納空間容積を所定の数で除した容積に基づき互いに識別可能にしたものである、

ことを特徴とする情報処理方法。

**【請求項 11】**

残余空間算出部により、ユーザに紐づく格納空間への格納物を格納する格納容器の容積ごとの種類を示す格納容器種別情報と、少なくとも前記格納空間の容積を示す格納空間容積情報と、に基づき、前記格納空間内の残余空間を示す残余空間情報を算出するステップと、

追加格納物抽出部により、前記格納空間内の残余空間情報に格納可能な追加格納物を抽出するステップと、をコンピュータに実行させ、

前記格納容器種別情報は、所定の格納空間容積を基準の格納空間容積として、当該基準の格納空間容積を所定の数で除した容積に基づき互いに識別可能にしたものである、

ことを特徴とするプログラム。

10

20

30

40

50